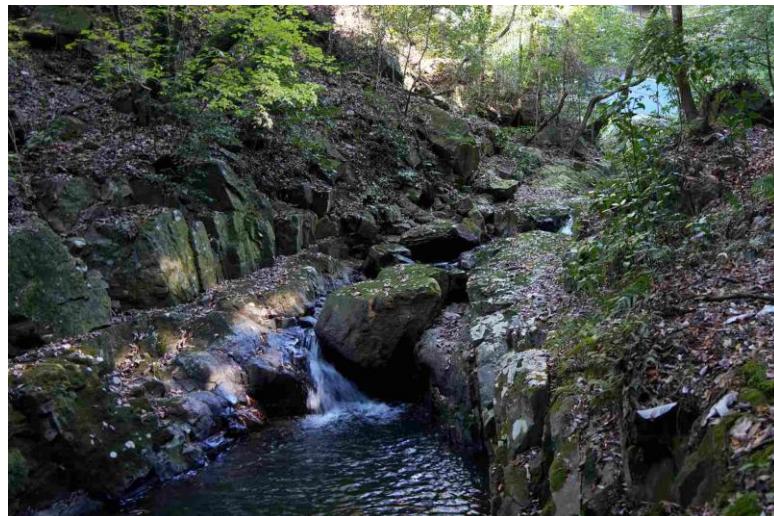


臨済宗 定光寺参詣と定光寺公園正伝池



秋晴れの下、JR 定光寺駅から参加者
10名、元気よくスタート！

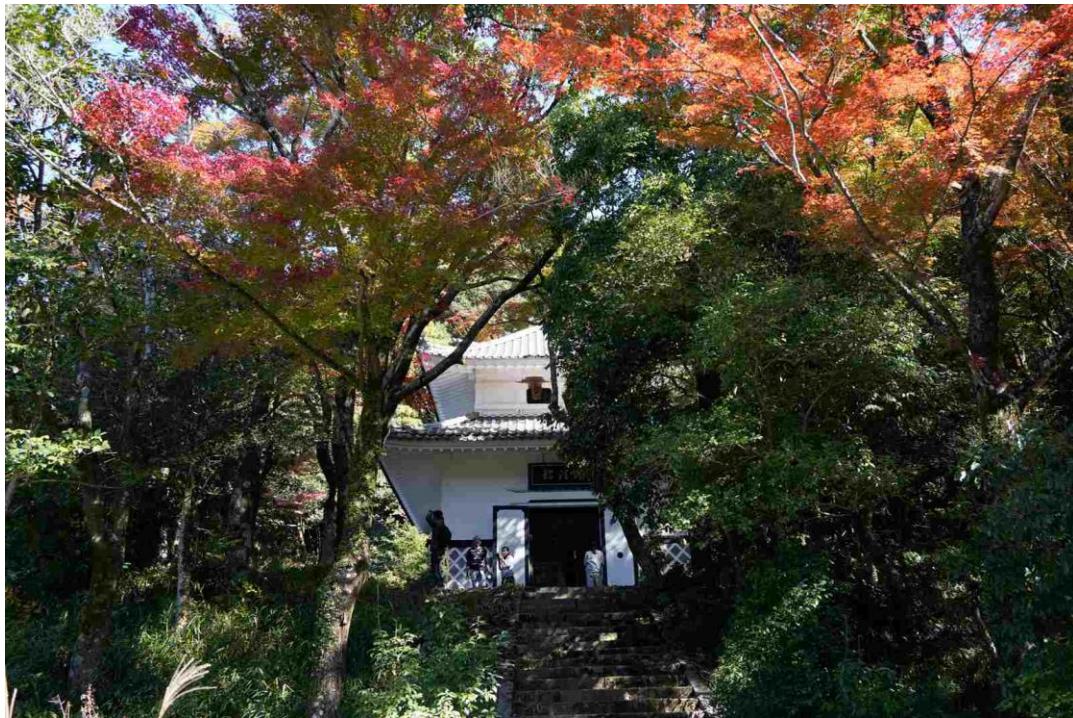


定光寺渓谷を進む、急な山道、石の階段を慎重に



明るい定光寺公園の正伝池の畔に出たところで
集合写真、パチリ。





定光寺の山門から本堂へと辿る。定光寺は宗派は臨済宗妙心寺派で、山号は応夢山というそうである。

境内一帯は桜や紅葉の名所としても知られる。この日は赤や黄色に色づいた木々が、きれ~い。

さらにその奥の「源敬公廟」へ。

源敬公は家康の第9子、初代尾張藩主の徳川義直のことで、定光寺付近の風光や自然を愛し狩猟を行い、生前に自らの墓地を当寺に定めたと、入口の門横の略歴に記されている。

そうか、ふ~ん。





公園の休憩所で弁当を食べて、楽しくペチャクチャ歓談した後で、用事のため早く帰る二名と別れた後で、正伝池八角堂の弁天様にお詣り。八名は高蔵寺駅までのロングコースにチャレンジ！



南北朝時代、後醍醐天皇の女官・
なか媛一行が敵の闇討ちに遭遇
した悲運に、その靈を祀る社

途中、立ち寄った風火水地を表現する供養塔「五輪大明神」



高蔵寺から大曾根までは、ゆとりーとラインに乗車、生まれて初めて乗り、敬老バスで無料のバスに感激の人も！！